

# 群馬県太田市の活性化について

## ——地域通貨を中心に——

間々田 絢香

私の地元である群馬県太田市は県内の市町村の中で三番目に人口が多い市である。また、産業は工業が盛んであり、ただちに衰退し、消滅する可能性は少ないといえる。しかし、年々高齢化が進んでいることは事実であり、人口は減少していくと予想されている。

そこで本論文では、群馬県太田市を活性化させ、持続可能なまちにするためにはどのような地域形成が求められるのかを「地域通貨」に焦点を当てて考えた。

太田市の地域通貨である「OTACO」は紙媒体である太田市金券を太田市デジタル金券に移行したものであり、令和5年度から完全に「OTACO」のみの発行となった。まだ始動して歴史が浅い「OTACO」だが、これまでにどのくらい「OTACO」が市民に利用されているのか、「OTACO」の実態について調査した。その結果「OTACO」は、キャンペーン期間中の利用が大幅に増えることや、利用者は30代～50代の働き盛りの世代や子育て世代が多く、さらに男性よりも女性が多いということが明らかになった。

さらに、太田市自分ごと化会議2024「地域通貨～誰でも気軽に使えるOTACO～」の議事録から市民の意見をまとめ、太田市にとって最良の活性化とはどのようなものかについて述べた。意見の中には「田舎過ぎず、都会過ぎないという良いところを伸ばしていけばよい」や「太田市には安心感がある。経済の発展＝都会化ではないと思うので、この住みやすさを活かして程よく発展していけばいいと思う」などの声があった。このことから、急激な発展や人口増加を望むのではなく、住みやすさを第一に考えることが太田市にとって最良の活性化の方向性なのだと結論付けた。

持続的に運営可能な地域にするためには、経済的な発展に加えて、市民が太田市の活性化に興味を持ち、協力してくれるような仕組みも必要になってくる。そこで、経済の域内循環の促進と同時に、太田市内で暮らす人と人を繋げ、新たなコミュニティの形成を促進することも期待できる「OTACO」がその役割も担っていけると考える。

最後に「OTACO」は太田市を最良の形で活性化させるために大いに役立つ可能性があるということが明らかになった。少子高齢化や人口減少が緩やかに進む中でも、太田市民や行政、太田市で事業を営む事業者が太田市に愛着と存続に対する危機感を持ち、活性化を盛り上げる必要があるともいえる。群馬県太田市がこれからも持続的に運営できる住みやすいまちを継続していくための手段の一つとして地域通貨「OTACO」の役割を期待したいと考える。